

**広島県商工労働局産業振興施策公募型プロポーザル選定委員会
提案書評価基準**

審査項目	審査基準	評価点
ア 新規性	<ul style="list-style-type: none"> ○ 最新のセンシング技術、エッジコンピューター、通信技術、クラウド、ロボティクス、AIなどを複合し活用した提案となっているか。 ○ 市場ニーズや市場規模、既存あるいは類似するソリューションの調査・分析が十分になされており、それらを踏まえた上で、差別化がなされた計画となっているか。 	20
イ 計画性	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実証実験から実装化、商用化までのステップが明確に示されているか。 ○ 実証実験の段階が明確に示されており、それぞれの段階で何を実現していくのか整理されているか。 ○ 提案するソリューションの実現に向けて、定量目標と定性目標が具体的に定められているか。 	20
ウ 実現性	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事業の実施体制は十分な状態であるか。 ○ コンソーシアムの参加者の経営基盤、管理能力、過去の実績などを総合的に評価し、事業を実現するに足る参加者であると評価できるか。 ○ 事業の内容、スケジュール、ビジネスの状況などから、計画が実現できるものと判断できるか。 	20
基本点数		60
審査項目	審査基準	評価点
エ 展開性	<ul style="list-style-type: none"> ○ デジタル化によって対象を可視化、モデル化、ソフトウェア化、システム化していくなどの展開が整理されているか。 ○ 今後構築を予定している「データ連携基盤（仮称）」にデータ提供することにより、分野を超えたデータ連携による新たなサービス創出が見込まれるか。 ○ 産学官が連携することによって、学識者が新技術の開発・研究につなげることや、他の企業や地域が同様のソリューションの導入を希求する状況となることが期待できるか。 ○ 実証実験が終了後、継続して事業を展開していくことができる計画となっているか。 	20
オ 革新性	<ul style="list-style-type: none"> ○ 未開発の技術や、これから実現されることが期待される研究を活用した提案となっているか。 ○ これまでにない新しいビジネスモデルの創出が期待できるか。 ○ 実証実験の成果をもとに、新制度の創設や規制緩和等を国へ要望できるような事業計画であるか。 	20
カ 地域性	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広島の地域資源や特長をいかした広島ならではの提案となっているか。 ○ 地域の住民や企業を多く巻き込み、広く波及させ、技術や知見が広島に残る提案となっているか。 	20
追加点数		60
合計点数		120

※ 革新性の評価点が最も高い提案については、選定委員会の審議のうえ、合計得点の点数に関わらず採択する。

※ 評価点の合計点数が満点の6割に満たない提案については候補者としない。

※ 6名の審査員の合計点数のうち、最高の合計点数と最低の合計点数を除いた4者の合計点数の総計を用いて審査する。

【評価点の配点基準】

評 価	劣る	やや劣る	普通	優れている	非 常 に 優れている
点 数	1～4	5～8	9～12	13～16	17～20